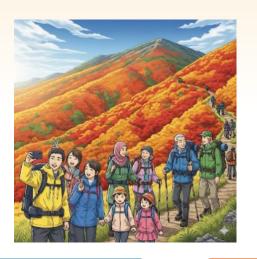
宮城の観光地の将来像

目指す姿

世界とつながり、県内全域が発展し、地域と共生する観光地











現状·課題

宮城県の認知度が低い

公共交通機関でのアクセスが不便

地域への経済効果が十分に 波及していない

地域の魅力が少ない

施設スタッフの確保が困難 専門ガイド人材が不足

重点ポイント

①認知度向上

②移動の円滑化

③地域経済の好循環

④滞在時間の長期化

注力していく施策

効果的なプロモーションの展開

周遊性向上のための二次交通対策

戦略的な観光地域づくり

快適な旅行環境のための 受入環境整備

重点ポイント① ~認知度向上~

1.現状・課題

- ◆宮城県(仙台/松島)のインバウンドの観光地 認知度が低く(11.4%)、訪問意向も低い(3.2%)。
- ◆東北の認知度も38%であり、「北陸」、「四国」 に次いで低い。



2.目指す姿

◆宮城県及び東北の観光地としての魅力を認識 し、国内外の観光客が**訪問したくなる観光地**

3.取組の方向性

- ◆東北各県と連携し、東北一体となったプロモーションを展開
- ◆増加する個人旅行者をターゲットに、宮城県の 魅力的な食・自然・四季の景観などの情報を SNS等で効果的に発信

before

外国人宿泊者数の状況



after

SNSによる積極的な発信で宮城県の認知度が向上



より多くの外国人が宮城・東北に来訪!

重点ポイント② ~移動の円滑化~

1.現状·課題

- ◆地図アプリ上に、コミュニティバス路線が非表示、または多言語表記非対応のため、インバウンドの円滑な移動に支障
- ◆交通拠点から県外への移動が多い。(仙台空港から約45%が県外へ移動)
- ◆観光地内で周遊する交通手段が限られる。

2.目指す姿

◆観光地までの交通手段の選択肢が多く、交通 案内が充実している、周遊性の高い観光地

3.取組の方向性

- ◆インバウンド受入環境整備として、地図アプリ掲載情報の充実・多言語対応促進
- ◆利便性向上や県内滞在時間の増加に向け、観 光地への周遊促進につながる交通手段の充実



before

【満足度の低い項目】

上位は全て2次 交通関係

順位	項目
1位	運行時間や本数
2位	他の交通機関との乗り継ぎ
3位	周遊のしやすさ
4位	運行情報の入手しやすさ
5位	観光施設の整備
11位	食事のおいしさ・充実度

【出典】宮城県観光客実態調査

after



after

二次交通が充実

レンタサイクル

レンタカー







外国人観光客も快適な移動が可能に!

重点ポイント③ ~地域経済の好循環~

1.現状·課題

- ◆宿泊を伴わない日帰り観光が中心であり、地域で の消費の増加につながっていない。(県内観光客 の約7割が日帰り)
- ◆魅力ある地域資源を活かした地域への経済効果の 波及が十分ではない。

2.目指す姿

◆農林水産業等の地場産業と連携し、**地域経済の** 活性化に寄与する観光地

3.取組の方向性

- ◆地域に根付く食材や食文化、農林漁業等の生業 を活用した体験型観光コンテンツの充実
- ◆地域の商店街等における地場産品の購入促進に 向けた商品の充実

地場産品の消費拡大









ずんだ餅



ワイン

体験型観光の充実





SUP体験

宮城オルレ・トレッキング

地域への周遊促進・地域経済の好循環!

重点ポイント4 ~滞在時間の長期化~

1.現状·課題

- ◆その地域ならではの魅力創出が課題
- ◆朝・晩に楽しめる観光コンテンツが不足
- ◆観光案内が多言語対応していない
- ◆宿泊施設スタッフの確保が困難

2.目指す姿

◆地域資源を生かした魅力と充実したサービスで、 長く滞在したくなる観光地

3.取組の方向性

- ◆地域の創意工夫による滞在時間の長期化や県内 宿泊の促進に向けた地域資源の磨き上げ・観光 コンテンツの造成
- ◆地域のストーリー性を活かした特別な体験価値 の提供に向けた観光ガイドの充実
- ◆県内各地域におけるインバウンドの受入環境の 充実
- ◆宿泊人材確保・定着支援を通した宿泊客受入環 境の充実

地域の魅力向上に向けた取組

ナイトタイムコンテンツ







外国人観光客の受入体制の充実

多言語対応

宿泊施設受入体制の強化





より長く滞在したくなる観光地に!

宮城県への誘客拡大を図るとともに、県内各地域への周遊を促進し、観光産業 の発展と地域の活性化にしっかりと取り組んでまいります!

「観光の力で、地域に活力を!」





















